

投資者(株主含む)との対話の推進について

2025年3月期 株主・投資家との対話の実施状況

1. 対話した株主・投資家概要及び対話の主な対応者について

当社は、経営企画部IR室長をIR事務連絡責任者と定めて、同部IR室が積極的なIR・SR活動を行っております。なお、経営陣幹部・取締役への面談要望に対しては、IR室長が、上記目的に資するかどうかを判断し、経営陣幹部・取締役は積極的に応じることを原則としております。

〈2025年3月期の実施状況〉

	対話した株主・投資家		主な対応者
決算説明会	国内外機関投資家	ファンドマネージャー	代表取締役 社長執行役員
		アナリスト	取締役 CFO
	セルサイドアナリスト		取締役 本社企画グループ担当執行役員
IR 個別ミーティング	国内外機関投資家	ファンドマネージャー	経営企画部 IR 室長
		アナリスト	
	セルサイドアナリスト		
SR 個別ミーティング	国内外機関投資家	議決権行使担当	代表取締役 社長執行役員他、
		ESG 担当	社外取締役を含む全取締役
会社説明会	個人投資家		代表取締役 社長執行役員 執行役員 経営企画部長 経営企画部 IR 室長

2. 対話の主なテーマについて

対話の主なテーマや株主の関心事項

経営戦略	「中期経営方針2022」の振り返り、「中期経営方針2028」の概要
	RFID(電子タグ)取付による効果と今後について
	各セグメント(訪販グループ、フードグループ、その他(海外))の成長戦略と進捗
	政策保有株式の会社とのシナジー効果及び提携推進状況についての確認
個別事業	各事業の需要動向と環境の変化に対する対応
	物価高騰、人件費等経費増加に対する対応について
財務戦略	株価と資本コストを意識した経営について(ROEの目標設定等)
	次年度以降の株主還元方針について
ガバナンス・その他	政策保有株式に対する考え方、縮減状況
	取締役評価検討会(現:指名・報酬委員会)と報酬制度(業績連動)について
	スキル・マトリックス特定と活用について
	サステナビリティへの取組み、開示状況について

3. 取締役会へのフィードバック

IR・SR活動の中で得た情報や市場の評価・意見については、年2回取締役会に対して定期報告を行う他、必要に応じて、IR 担当執行役員から取締役会に報告後、経営に反映することとしております。

4. 経営に取り入れた事項

- ・「資本コストや株価を意識した経営の実現」の議論充実。
市場評価の確認を実施すると共に、資本コストの現状分析を行い取締役会で共有を図った。
資本コストについて、共有認識の下で「中期経営方針2028」の資本政策を協議した。
- ・政策保有株式の縮減に関する目標を設定し、「中期経営方針 2028」に盛り込み公表した。
- ・報酬制度における業績連動の議論を深化させるため「取締役評価検討会」を「指名・報酬委員会」に名称変更した。
- ・長期的な「環境」への取り組みの指針となる「ダスキン環境ビジョン 2050」を策定し、公表した。

以上